

わかしよう

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

若草小学校HP



文責

校長 時田直人

修学旅行記 その1

修学旅行結団式での言葉

- 修学旅行は、学習です。遊びとは違います。約束を守りテーマを達成しましょう。
- しっかり見学しましょう。五感をフルに使って、見て学んでいきましょう。
- 健康に気を付けましょう。けが等に十分に気を付けて楽しい修学旅行にしましょう

6月8日(水)から10日(金)の3日間、6年生の修学旅行が実施されました。小学校生活の中でも、特に思い出に残る行事です。テーマは「仲間と協力し、最高の思い出を！！Let's enjoy 修学旅行」。6年生はテーマの通り、仲間と最高の思い出を作ってきました。様子を写真で紹介します。

海洋博物館では、ニモなどのかわいい海の生き物が出迎えてくれました。日本平夢テラスで絶景



東海大学海洋博物館

を見た後、久能山東照宮はロープウェイを使って

移動しました。徳川家康公は遺言で「死後は駿河の久能山に」と伝え、家康公が眠っています。400年の時を感じさせる幻想的な雰囲気がありました。天下泰平の世を創った家康公は、令和の時代をどのように思うのか尋ねてみたくなりました。



日本平夢テラス



久能山東照宮

午後は、「富士山みなとクルーズ」で駿河湾を遊覧しました。途中でイルカの群れが泳いでいるところを見て歓声が上がりました。富士山は見えませんでした。心地よい海風に、大自然を感じました。

富士山みなとクルーズ



駿府匠宿では、伝統工芸の体験学習「駿河竹千筋細工」を行いました。江戸時代の鷹匠の技から発展したそうです。どの作品もとても上手にできて、満足した笑顔が見られました。

ホテルの夕食はテーブルマナーです。ナフキンの使い方、フォーク・スプーンの使い方など、食事のマナーを、おいしい料理を食べながら教えていただきました。



テーブルマナー



駿府匠宿

【みんなの学校】

手前みそという言葉があります。日本人はなかなか自分で自分のことを誉めない。自分の自慢をしたいときに、「手前みそですが・・・」とつけて話しをします。若草小学校の校長として、「手前みそですが、本校職員はみんな頑張っています。」と伝えたい。1学期も半ばを迎え、保護者の皆様からのお言葉をたくさんいただきます。勇気づけてくれる言葉、叱咤激励をこめての厳しい言葉……。私もこの年になっても小学校1年生から6年生までの先生の顔と名前は憶えています。それほど学校の先生の存在は大きいものです。学校・保護者・地域の方、子供たちを育てるすべての人の願いは、子供の成長です。

大阪市立大空小学校の校長を務めた「木村泰子さん」のお話を聞いたことがあります。木村先生の学校づくりが「みんなの学校」というドキュメンタリー映画にもなりました。(2015年)著書も多数あります。その中で、特に印象に残っていることが、「みんなの学校」という言葉です。学校は自分のもの、我が子のものではなく、みんなのものなのです。保護者は誰もが我が子の成長を願います。そこで木村先生は、「自分の子供に育ててほしければ、周りの子どもを育てにおいでや。」と保護者に呼びかけたそうです。周りの子どもが育てば、環境が豊かになるのだから、必然的に自分の子どもたちが育つ。このことを学校・保護者・地域で取り組んだそうです。子供たちは毎日、学校で様々な経験をします。楽しいことばかりではなく、時には悔し涙も流します。子供同士のトラブルは、生きた学びです。10年先20年先の生きて働く力になっていくと思います。楽しいこと、うれしいこと、悔しいこと、悲しいこと…様々な経験が子供たちを成長させるエネルギーとなっています。みんなの若草小学校を創りましょう。

